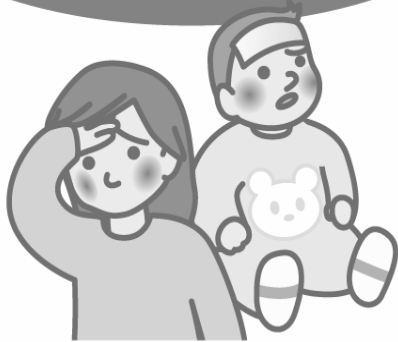


保育園 サーベイランス



国立感染症研究所
感染症情報センター

保育園の感染症対策のために
「保育園欠席者・発症者情報収集システム」を開発しました。

子どもを感染症から守ろう！

幼稚園は「学校欠席者情報収集システム」に含まれています。

「保育園サーベイランスに期待すること」

国立感染症研究所感染症情報センター
予防接種室 室長 多屋馨子

生後初めての集団生活となる保育園は、子どもの成長をともに喜び、ささえあう大きな家庭のような場所と考えています。しかし、感染症に対して免疫を持たない乳幼児が濃厚な接触のもとに長時間一緒に生活しますので、特に最初の数年間は感染症との戦いです。

感染症予防の基本は予防接種を受けることですが、まだ予防接種が開発されていない感染症も多数存在します。また、手洗いの励行や基本的な生活習慣の確立も感染症予防には重要ですが、最大限の対策を講じていても、園児の感染症の発生をゼロにする事は不可能です。予防方法や症状についての情報をお手紙や園内掲示等でお知らせすることは、保護者にとって極めて有用な情報となり、保育園での感染症の発生状況を知った上でかかりつけ医を受診することは、早期診断、早期治療にも繋がります。

職員と保護者が感染症についての正しい知識をもって、適切な方法で感染拡大を予防することは、園児のみならず園児の家族と職員も一緒に感染症から守ることにつながります。保育園には妊娠中の女性も多く、感染症の発生があった時は、速やかにすべての保護者と職員がその情報を共有することが大切です。そのためには、保育園での感染症の発生をリアルタイムに把握することが必要になります。さらに、地域での感染症の発生状況に注意を向けることも感染症予防にはとても重要です。

保育園児が多く罹患する感染症について、発症の探知と迅速な情報共有は多くの子どもたちと職員、さらに園児の家族を感染症から守ることに繋がると期待しています。保育園での感染症サーベイランスが園児と周りにいる多くの人々を感染症から守り、子どもたちの笑顔あふれる保育園生活に役だってくれることを期待しています。

以下の内容は、資料3「申し込みから開始までの説明」「月報と日々のグラフの理解のしかたの説明」にあります。

STEP 1「申し込みから開始まで」

STEP 2「初期登録」

STEP 3「メインメニュー」

STEP 4「事例」(発症者と有症状者の考え方の違い)



以下では、実際に使った場合の利用の仕方を説明します。

STEP 5 「参照」を活用してみよう。

10月4日〔月〕に下痢・嘔吐で1人欠席しました。

翌日から、次々に欠席者が増えました。

10月5日〔火〕下痢・嘔吐で欠席2人(うち新規1人)

10月6日〔水〕下痢・嘔吐で欠席4人(うち新規2人)

10月7日〔木〕下痢・嘔吐で欠席9人(うち新規6人)

10月8日〔金〕下痢・嘔吐で欠席11人(うち新規3人)

10月9日〔土〕下痢・嘔吐で欠席3人(うち新規0人)

全員医療機関に受診し、当日には感染性胃腸炎と診断がされたという連絡が保育園にあったと仮定します。

Point

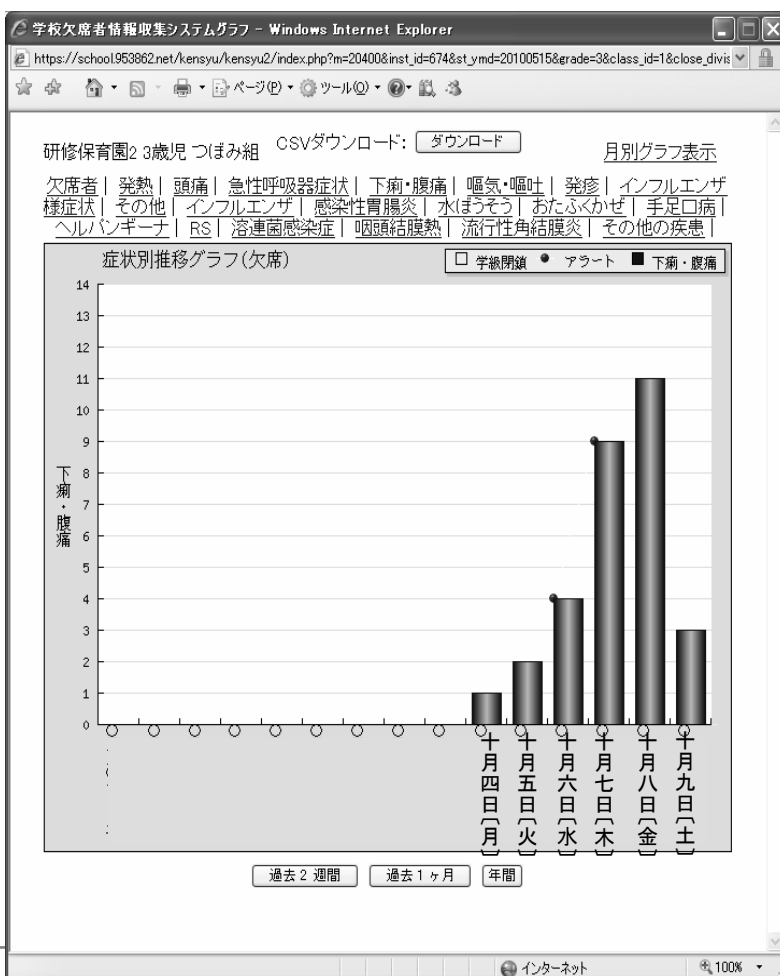
その日の欠席人数だけではなく、症状に基づいた情報の把握をすることで、感染症の早期探知が可能となります。

毎日「疾患の登録」と「欠席者入力」を入力します。



10月9日〔土〕の「参照」をみてみましょう。

右のようなグラフが作成されます。7日(木)、8日(金)に多いことが視覚的にわかります。文字だけの情報より理解しやすくなります。



《10月》 実際の欠席状況。

	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)
Aさん	下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	下痢・嘔吐			
Bさん		下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	
Cさん			下痢・嘔吐	下痢・嘔吐		
Dさん			下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	
Eさん				下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	
Fさん				下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	
Gさん				下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	
Hさん				下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	
Iさん				下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	
Jさん				下痢・嘔吐	下痢・嘔吐	
Kさん					下痢・嘔吐	下痢・嘔吐
Lさん					下痢・嘔吐	下痢・嘔吐
Mさん					下痢・嘔吐	下痢・嘔吐
有症者人数	1人	2人	4人	9人	11人	3人

毎日の入力をする、
右のような表も自動作成されます。
CSVダウンロード機能を使って
みましょう。 →
下のような月報も自動作成されます。

myschool_graph_20100823[1].csv						
	A	B	C	D	E	F
1	報告年	報告月	報告日	学年	クラス	欠席者総数
2	2010	5		1 3歳児	つぼみ組	0
3	2010	5		2 3歳児	つぼみ組	0
4	2010	5		3 3歳児	つぼみ組	0
5	2010	5		4 3歳児	つぼみ組	0
6	2010	5		5 3歳児	つぼみ組	0
7	2010	5		6 3歳児	つぼみ組	0
8	2010	5		7 3歳児	つぼみ組	0
9	2010	5		8 3歳児	つぼみ組	0
10	2010	5		9 3歳児	つぼみ組	0
11	2010	5		10 3歳児	つぼみ組	1
12	2010	5		11 3歳児	つぼみ組	2
13	2010	5		12 3歳児	つぼみ組	4
14	2010	5		13 3歳児	つぼみ組	9
15	2010	5		14 3歳児	つぼみ組	11
16	2010	5		15 3歳児	つぼみ組	3

10月
感染性胃腸炎
13人



欠席者が急増したことを、探知できないの？

「できます。」早期探知システムを
みてみましょう。 →

STEP 6

「早期探知」とは？

10月6日(水)の欠席者4人の入力をして、「参照」をみました。

ここでは、みえにくいのですが、下痢と嘔吐のところが、背景が黄色くなっています。

また、グラフを表示すると、下痢の棒グラフにアラートのマークがでています。

このように、欠席者が急増すると、知らせる「アラート」が表示されます。これが早期探知です。

早期探知の仕組みって???

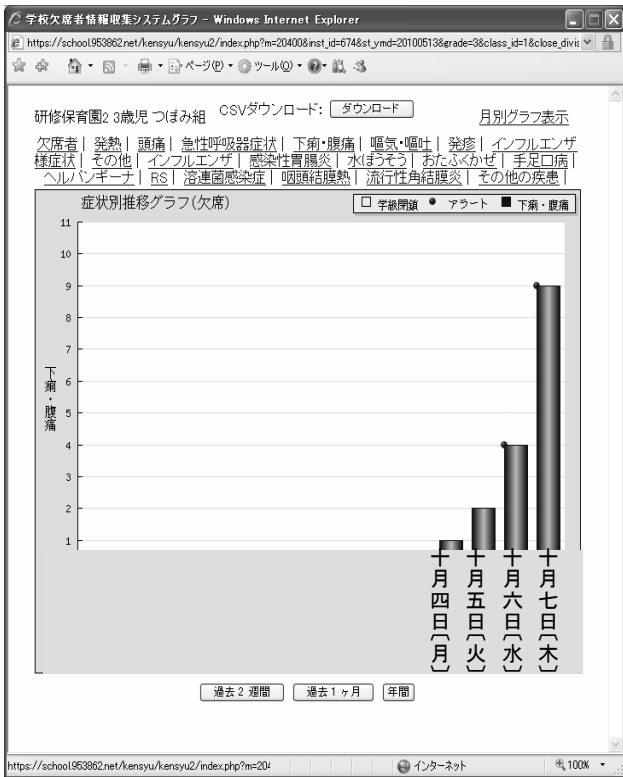
欠席者の急増があった場合に、自動的にシステムが判定します。当日の入力人数が、過去に入力のあった7日分の平均値よりも、過去7日分の標準偏差の3倍以上上回った場合に、アラートが表示されます。保育園ごとの解析になりますので、同じ欠席者人数でも、アラートがでる場合とでない場合があります。

早期探知できたら、どうしたらいいの？



早期に対策をすることができます。二次感染、感染拡大を防ぐことができます。





左のグラフは、10月7日(木)の欠席者9人の入力をして、「参照」したものです。水曜日、木曜日と欠席者が急増しているアラートがでています。

何をしたらよいのでしょうか？

保護者の皆さまへ

昨日、今日と感染性胃腸炎での欠席者が急増しています。

手洗いを十分にしましょう。
トイレの後、食事の前、調理の前、おむつ交換の後、嘔吐物や下痢便の処理の後に、流水・石鹸によるしっかりと手洗いが必要です。

園内での感染拡大を防止する為に、嘔吐から24時間が経過していないお子様の登園はお控えください。嘔吐物の処理方法については、別紙をご参照ください。



10月7日(木)
やすい保育園

感染性胃腸炎(ノロウイルス)の主な症状は下痢・嘔吐です。症状のある者からの嘔吐や下痢によって汚染された手指や物品を経口することによって、また接触することによって感染は広がっていきます。

このことをふまえて、予防活動を早期に行います。

手洗いを徹底することを、職員・園児、そして保護者に早期に伝えます。

例えば、上のグラフを一緒に見せることは効果的です。

手洗いは、最も重要で有効な防御策です。早期に対策を行うと、集団感染や二次感染などの感染拡大による被害が大きくなる前に、抑えることができます。早期探知できると、速やかに専門家と連携をとることができます。



STEP 8

地域の流行状況を把握してみましょう。

自施設において、欠席者の急増があると、「他のところはどうなっているのだろう？」と、思いませんか？
このようなとき、自治体単位で「保育園サーベイランス」を実施していると、地域の状況を把握することができます。

他のところでの流行状況を知ったうえで、自施設の対策を早めに、考えましょう。

「北部のあたりで、感染性胃腸炎が増加している。」

自施設はどうでしょうか？下痢・嘔吐の園児がいませんか？

「南部のあたりで、インフルエンザが増加している。」

発熱、呼吸器症状の園児がこのところ数名でいませんか？もし、数名でているようであれば、対策を急ぎましょう。職員にも知らせましょう。



(新型)インフルエンザ対策

保育施設は、都道府県・市町村内、周辺地域でのインフルエンザの流行状況の詳細でリアルタイムに把握することにより、適切な時期に準備が可能となります。

保育施設へのインフルエンザの侵入の早期探知と園医等の関係者への周知により対応の迅速化を図りましょう。

Q&Aコーナー

Q1: 保育園サーベイランスは、インターネットがなければできませんか？

A1: はい。インターネットに接続できるパソコンが必要です。安全なインターネットの回線をつかって、ID、パスワードで、インターネット上にあるデータベースに、毎日入力していきます。

Q2: 入力をまとめておこなってもよいですか？

A2: はい、できます。しかし、リアルタイムに情報共有できる早期探知の部分(欠席者が急増した場合のメール送信や10人以上の欠席者がでた場合のメール送信)については、メール送信されません。

その他のQ&Aは、下記のホームページにあります。 資料もあります。

<http://www.syndromic-surveillance.net/hoikuen/>